

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 Y氏	6名	京都府京丹後市	経営改善と地域の信頼確保	2回

相談内容・現状課題

■相談内容

- ・花き(ユリ)とサツマイモの家族経営を行っており、後継者(2名)への経営移譲を含めた新しい経営体制を確立したい。
- ・近隣の農業者の高齢化、リタイア等で耕作放棄された砂丘畑や未利用ハウス等を有効活用したい。
- ・地域の信用力向上のため法人化したいが、経営規模、収支の両面で限界を感じている。

■現状と課題等

- ・財務諸表等による経営分析の結果、花きに係る運送費の高騰や価格の低迷によって収益性が悪化、経営全体を圧迫しているため、新しい経営部門の開拓が急務。
- ・長男夫妻が経営に加わり、近く、次男も就農予定であることから、経営規模の拡大、飛躍的な所得向上が喫緊の課題。

相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

相談所(中小企業診断士、事務局)、農業会議(現地推進役、ビジネスコーディネーター)、普及センター、市農業振興課、政策金融公庫で支援チームを結成。

【経営方針への支援】

- ① 花きに代わる新たな経営部門の絞り込みと販売方法の検討
 - ・サツマイモ経営で習得・蓄積したイモ苗生産の技術を生かす。
 - ・既存施設の有効利用で投資を極力控える。
 - ・一定量の供給体制を整え、ホームセンター等との高品質を理由とした有利販売を検討。
 - ・経営及び収支計画の作成を支援し、実行ある計画内容とする。
- ② 生産体制の強化による地域貢献
 - ・近隣の高齢農家との間で、委託生産契約を締結し規模拡大及び安定供給につなげる。
 - ・イモ苗生産は高齢でも可能な軽作業が多く、技術を伝授、生産指導することによって人材・耕作放棄地等の地域資源の有効活用など地域から期待される役割を担い、信用獲得につなげる。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

既存施設を利用して新たな投資を回避しつつ、一定の所得を確保することができるイモ苗生産にシフトする経営・収支計画作成を支援、これにより高齢者との委託生産契約を締結、高い品質での生産体制が確保され、大口の取引先への有利販売が可能になった。

同時に耕作放棄地等の地域資源の有効活用など地域から期待される役割や信用を獲得するとともに、農家が協力し、地域農業を守るという機運が地域に芽生え、生産拠点(3集落)で、人・農地プラン実質化の話し合いも行われるようになった。

今後は、生産を請け負う地域の農家や取引先、金融機関への信用力アップのため、法人化を進めていくこととしている。



イモ苗を育てるY氏とご長男

■コーディネーター所感

支援によって、「地域の協力・信用を得ながら経営を発展していく」と発想を転換し、大きな視野で経営を捉えることができるようになった。

今後は経営を発展させ、法人化に期待したい。